

I 新たな時代の観光への対応

1 関係人口創出に向けた裾野の拡大

(1) デジタル技術を活用した持続的な関係づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
Webマーケティングによるデジタル情報発信事業 (24,584千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB広告・SNS等を活用し、Webマーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
インバウンド向けHP及びSNS情報発信強化事業 (10,726千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室

(2) インフルエンサーなど誘客の起点となるコアな富山ファンの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
Webマーケティングによるデジタル情報発信事業(再掲) (24,584千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB広告・SNS等を活用し、Webマーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
JR連携富山ファン創出事業 (14,932千円)	首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、JR会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。 ・JR東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・首都圏の主要な駅での物産展の開催 など	観光振興室

(3) 発地でのリアルな富山体験等による関係人口創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業 (59,359千円)	令和6年7月31日、KITTE大阪に富山・石川・福井情報発信拠点「HOKURIKU+ (ホクリクプラス)」が開業した。観光プロモーションや寿司をフックにした観光PR等を実施し、本県の魅力を発信した。	観光振興室

「ツーリズム E X P O ジャパン」出展事業 (7,420 千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズム E X P O ジャパン 2024」に富山県ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
関東地方観光プロモーション事業 (6,800 千円)	北陸新幹線沿線地域からの誘客を図るため、令和 7 年 1 月 18 日～19 日に「とやまの観光とうまいもの展」(JR 浦和駅)を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。	観光振興室
首都圏魅力発信強化事業 (4,430 千円)	首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信、とやまの地域伝統芸能(おわら、麦屋節、こきりこ等)の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。 ・リリース配信 36 回 ・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等 4 回 等	首都圏本部
首都圏起点の全国マーケティング in 日本橋とやま館事業 (3,956 千円)	これまでの取り組みで積上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、首都圏での県産品の販路開拓の実施や富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室
ご縁でつながる関係人口創出事業 (2,516 千円)	県産品販売や誘客だけではなく、本県出身の偉人や本県とのつながりを体感することで関係人口の創出につなげるため、本県とのゆかりが深い企業やイベントにおいて物産展や展示を実施した。 ・本県ゆかりの企業やイベントにおける物産展・展示等の実施 計 6 か所	成長戦略室

2 ウェルビーイング・魅力の再発見とマイクロツーリズム定着

(1) 地元の魅力再発見・発信やふるさと教育による観光地域ブランディングの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
越中富山ふるさとチャレンジ事業 (4,000 千円)	富山の自然や歴史、文化などに関する施設を巡る「ぐるっと富山ラリー」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見する機会を創出した。 ・スタンプラリー 総応募件数 1,612 件 ・モバイルラリー 総応募件数 247 件 等	ワンチームとやま推進室
富山ふるさとマスター派遣事業 (800 千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20 人 ・派遣回数 20 回	ワンチームとやま推進室
関係人口 1,000 万人協働促進事業 (4,228 千円)	県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。 ・補助件数 17 件	県民生活課
文化財の美装化等推進事業 (17,148 千円)	重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町・吉久」の町並みの外観修理などに対して、支援した。 ・補助件数 4 件	生涯学習・文化財課
文化財ボランティア対応力向上事業 (48 千円)	文化財ボランティアスキルアップ講座を開催した。 ・開催日：令和 7 年 3 月 22 日 ・参加者：35 名（文化財ボランティア団体）	生涯学習・文化財課

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
とやまのユネスコ無形文化遺産情報発信事業 (216 千円)	とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業協議会を立ち上げ、本県のユネスコ無形文化遺産の人材育成・情報発信を図った。 ・とやまのユネスコ無形文化遺産記録保存事業 ・観光ボランティア養成事業（魚津市で開催） ・ユネスコ無形文化遺産保存伝承事業（巡回パネル展）の実施（射水市で開催）	生涯学習・文化財課
県民ふるさとの日記念事業 (426 千円)	5月9日の県民ふるさとの日に、県の施設の無料開放を実施。また、県民ふるさとの日を記念し、立山カルデラ見学ツアーを開催した。 開催日：令和6年7月12日（金）、9月6日（金）	観光振興室
北陸・とやま応援事業 (1,346,660 千円)	能登半島地震による風評被害や旅行自粛を払拭するため、国・北陸四県の協力による旅行割引（北陸応援割）や県独自のクーポン配布を実施した。 ・北陸応援割 期間：令和6年3月16日～令和6年4月26日 実績：補助額8億8,449万円（102,475人泊） ・応援クーポン 期間：令和6年2月20日～令和6年4月28日 実績：利用額3億2,694万円 (利用店舗数1,822店)	観光振興室

（２）暮らしを体験できる観光サービスの充実に向けた事業化支援と担い手育成

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
とやま観光塾事業 (19,691 千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ・修了生 61 名 (内訳) 高付加価値対応基礎コース 31 名 観光ガイドコース（ガイディング技術専攻）12 名 観光ガイドコース（インバウンド専攻）13 名 グローバルコース 5 名	観光振興室

(3) マーケティングに基づく県民・近隣県民向け情報発信・誘客と観光コンテンツの充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
マイクロツーリズム推進事業 (3,008 千円)	令和3年度以降の「マイクロツーリズム推進に向けた調査事業」、「マイクロツーリズム推進に向けた検討事業」における分析結果を活用し、石川県内での出向宣伝やメディアとのタイアップ、冬季宿泊キャンペーン（令和6年12月～令和7年2月）を実施し、引き続き近隣県からの誘客を促進した。	観光振興室

3 デジタル技術の活用

(1) 需要喚起・誘客促進のデジタルシフト

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
インバウンド向けHP及びSNS情報発信強化事業（再掲） (10,726 千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室
首都圏起点の全国マーケティング in 日本橋とやま館事業（再掲） (3,956 千円)	これまでの取り組みで積上げてきた基盤・関係性を最大限活用して、首都圏での県産品の販路開拓の実施や富山の魅力をリアルに体感するイベントの実施を通じ、県内観光地や県産品の発信力を強化した。	観光振興室
都市農山漁村交流推進事業 (7,500 千円)	富山県農山漁村総合サイト「むらまち交流ラボとやま」及び関連 SNS アカウントを開設し、県内農山漁村地域に係る情報発信を強化した。	農村振興課

(2) デジタル技術を活用した観光コンテンツ・サービスの充実化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光地域づくり支援事業 (4,615 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 11 件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部アルペンルート駐車場 利便性向上事業 (2,496 千円)	立山駅周辺駐車場における観光客の利便性向上及び 駐車場管理の負担軽減に向けた DX 推進等を支援した。	観光振興室

(3) データを活用した効果的・効率的な観光地経営

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収 集・分析事業 (3,112 千円)	旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、収集した データの蓄積・管理・分析を通じて旅行者データベース の構築を図った。また、県内におけるデータ主導型観光 マーケティング人材の育成に取り組むとともに、観光統 計データサイト「TOYTOS (トイトス)」の運用を通じて、 ターゲットに応じた効果的なプロモーション活動への 活用を推進した。	観光振興室

(4) 顧客情報を活かしたリピーター確保と受入態勢整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
首都圏とやまの 魅力発信事業 (22,870 千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋 とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課 との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリ ーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの 参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行 った。	観光振興室

4 ウィズコロナへの対応

(1) 安全・安心の環境整備及び情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (4,615 千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタ ル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 11 件	観光振興室

(2)「新しい生活様式」に対応した観光コンテンツの創出

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光 地域づくり支援 事業(再掲) (4,615千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 11件	観光振興室
ワーケーション・テレワーク 推進事業 (3,921千円)	テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワーケーションを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。 ・県内でのワーケーション実施者への助成利用者 68名	成長戦略室

Ⅱ 持続可能な観光地域づくり

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 県DMOの組織・機能のさらなる充実と専門性向上による「稼げる」観光地域づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (再掲) (3,112 千円)	旅行者へのウェブアンケート調査を実施し、収集したデータの蓄積・管理・分析を通じて旅行者データベースの構築を図った。また、県内におけるデータ主導型観光マーケティング人材の育成に取り組むとともに、観光統計データサイト「TOYTOS (トイトス)」の運用を通じて、ターゲットに応じた効果的なプロモーション活動への活用を推進した。	観光振興室
富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査)事業 (4,380 千円)	観光客の県内観光地の訪問地点数や観光消費額等の算定の基礎とするため、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
訪日外国人観光客の広域周遊状況調査等事業 (6,442 千円)	富山県内の訪日外国人観光客を対象とした観光動態調査を実施し、収集したデータの分析を通じて外国人旅行者の行動パターンや嗜好の把握を図った。また、AIチャットボットの運用委託により、観光情報の提供体制の充実と効率化を推進し、多言語対応による外国人観光客へのサービス向上に取り組んだ。	観光振興室
市町村・市町村観光協会等連絡調整事業 (109 千円)	市町村や観光協会等とのDMO事業の調整や、データ分析の結果を観光レポートで周知、観光資源の磨き上げ、掘り起こし、観光情報の収集を行った。	観光振興室
宿泊施設と連携したデータ収集・分析事業 (590 千円)	宿泊施設と連携しデータ収集・分析を行い、データに基づいた誘客施策の立案やプロモーションを実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光マーケティング戦略会議運営等事業 (5,684 千円)	マーケティングデータに基づき、DMOの取組みや、今後のDMO事業の方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (329 千円)	DMOの取組みについての勉強会を開催し、観光マーケティングに関する知識の普及と理解促進を図った。また、女性視点マーケティング講演会を実施することにより、女性視点に基づいた観光マーケティング手法の習得と実践への活用を推進した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (11,550 千円)	地域の観光資源の掘り起こし・磨き上げの取組に対する支援を実施し、観光地としての魅力向上と競争力強化を図った。また、観光地域づくりを担う専門人材の確保・育成を推進するとともに、旅行商品の受注体制の強化およびPR活動の充実を通じて、持続可能な観光地域づくりの基盤整備に取り組んだ。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (17,420 千円)	北陸デスティネーションキャンペーンを契機に、県・市町村と連携して観光客受入体制の整備を推進するとともに、海外向けOTAでの商品販売促進や県内事業者のおもてなしに関するPRなど、効果的な情報発信を通じて誘客促進を図った。	観光振興室
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (18,388 千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
マーケティング データに基づく PR事業 (5,216千円)	宿泊データシステムを活用した勉強会を開催し、データに基づく観光マーケティングの実践力向上を図った。 また、とやま観光ナビの発信力強化に向けて、「ふおとやまライター」による富山の魅力発信を推進するとともに、各種メディアへの積極的なPR活動を通じて、富山県の観光情報の効果的な発信と認知度向上に取り組んだ。	観光振興室

(2) 観光を担う人材育成と地域における活躍促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光塾事業(再掲) (19,691千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ・修了生 61名 (内訳) 高付加価値対応基礎コース 31名 観光ガイドコース(ガイディング技術専攻) 12名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 13名 グローバルコース 5名	観光振興室
おもてなしタクシードライバー実践力アップ事業 (1,000千円)	タクシードライバー向けに観光客に伝えるべき最新の観光情報や接遇の知識をまとめた動画を制作、YouTube配信し、ドライバーの観光案内能力、おもてなし力の向上を図った。 ・12本制作、配信	観光振興室

(3) 旅行者が満足度の高い旅を楽しめる受入環境の整備

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (1,800 千円)	富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、誘客促進を図った。 ・作成部数 新作 500 部（1 種類） 増刷 1200 部（3 種類）	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (2,145 千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識（県事業） 改修件数 1 件、14 基 ・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新設 1 件 改修 9 件	観光振興室
旅館施設近代化 等促進事業 (465 千円)	宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対する融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）により、宿泊施設の誘客力の向上を図った。 ・融資件数 継続分 1 件	観光振興室
クルーズ乗船客 おもてなし向上 事業 (10,142 千円)	寄港時の歓迎行事等、おもてなしに要する経費に対し支援を行った。 ・補助件数 10 件	観光振興室
国際クルーズ旅 客受入機能高度 化事業 (5,283 千円)	可動式フェンス及びコンテナを整備することで、貨客併用の港として限られたスペースを最大限活用した安全で持続可能なクルーズ船の受け入れ態勢を構築し、クルーズ旅客の安全性の向上を図った。	港湾課
自然公園等整備 事業等 (20,718 千円)	わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、立山黒部アルペンルート沿線において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。	自然保護課

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
生活衛生関係営業施設における利用者サービスの向上に対する支援 (245 千円)	県内外からの宿泊利用者向けに、富山県内のホテル旅館を一覧できるパンフレットを作成し県内の宿泊施設やホテル以外の生衛業種店舗に配置する事業に対し、補助を行った。	生活衛生課
有峰森林文化村推進費 (51,436 千円)	豊かな森林を有する有峰において、利用者が有峰森林文化村公園の魅力を体験できるような行事活動の推進及び宿泊施設である有峰ハウスや活動拠点施設である有峰ビジターセンターなどの適切な管理運営を行った。	森林政策課
県立都市公園の整備・改修 (970,397 千円)	県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。 ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森	都市計画課 環境政策課
県立都市公園の維持管理 (1,028,647 千円)	県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。 ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森	都市計画課 環境政策課

(4) 観光産業と他産業連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社) とやま 観光推進機構運 営費等補助金 (12,174 千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。	観光振興室
産業観光魅力創 出事業 (1,580 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った。 ・補助件数 7 件	観光振興室
とやま伝統工芸 プロモーション 戦略事業 (2,501 千円)	伝統工芸品の魅力を PR し販路を拡大するため、北上市内の蔦屋書店で開催された展示イベントに参加し、県内伝統工芸品の展示及び富山県の PR を行った。	地域産業振興室

(5) 外国人個人旅行者 (F I T) 受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日旅行商品造 成支援事業 (136 千円)	F I T 向け旅行商品の造成のため、台湾の現地旅行会社にてセールスを実施した。	観光振興室
富山県外国人旅 行者受入環境整 備促進事業 (589 千円)	多言語でのパンフレット制作や免税手続機器の導入、商品開発支援など新たな消費拡大の取組みに対する支援等により、受入環境の整備を図った。	観光振興室
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (2,145 千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識 (県事業) 改修件数 1 件、14 基 ・外国語観光サイン整備 (市町村補助事業) 補助件数 新設 1 件 改修 9 件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光総合案内所運営事業 (再掲) (17,020 千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま観光塾事業 (再掲) (19,691 千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ・修了生 61 名 (内訳) 高付加価値対応基礎コース 31 名 観光ガイドコース (ガイドング技術専攻) 12 名 観光ガイドコース (インバウンド専攻) 13 名 グローバルコース 5 名	観光振興室
とやま名誉友好大使の委嘱 (83 千円)	外国人の本県在住経験者に対し「とやま名誉友好大使」を委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・新規委嘱数 36 人	国際課

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光の拠点としての機能充実と情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所運営事業 (2,200 千円)	新幹線駅など県内 2 か所の広域観光案内所の運営に対し、支援を行った。	観光振興室
富山駅観光総合案内所運営事業 (17,020 千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅、富山きときと空港等と観光地を結ぶ二次交通の利便性向上

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
ぐるっと富山観光地アクセス充 実事業 (11,791 千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バスの運行経費の一部に対し助成した。 ・補助件数 4 件	観光振興室
新幹線アクセス 路線バス等運行 支援事業 (3,302 千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 2 件	地域交通・ 新幹線政策 室
インバウンド空 港交通アクセス 等向上事業 (8,780 千円)	上海便を利用して来県する旅客の交通アクセスやおもてなしによる満足度向上を図るため、富山空港から富山駅へ直行する無料バスを運行した。	航空政策課

(3) 新幹線駅周辺等における賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
環水公園におけ るウェルビーイ ング向上事業 (17,125 千円)	富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催した。 ・「キッズフェスタ」「サマーファウンテン」「ナイトクルーズ」「ハロウィンマーケット」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光振興室
富岩水上ライン 利用促進事業 (4,810 千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図り、さらなる魅力向上や活力ある地域づくりを図った。 ・リーフレット、パンフレット、ポスター作成 など	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
イタリア料理イベント開催事業 (2,998 千円)	県産食材を活用したイタリア料理を楽しめるイベントを富山市と共催し、県産食材の魅力発信とともに、料理教室や、富山駅での飲食、物販イベントを実施した。 ・Buono! #とやまイタリアン 2024 令和6年11月16日、17日 (出店：26店、参加者：15,000人)	観光振興室

3 富山らしい魅力創出

(1) 「立山黒部」の高付加価値化と魅力の維持向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
黒部ルート携帯電話エリア整備事業 (1,462 千円)	黒部ルートの携帯電話基地局の運用を行った。	デジタル化推進室
廃屋等撤去観光地景観改善支援事業 (25,665 千円)	観光地の景観改善を目的として、地域の観光まちづくりの取組みと連携した廃屋等撤去を支援した。 ・補助件数 4件	観光振興室
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000 千円)	立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (500 千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地区開発事業費 (1,195 千円)	五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 1 件	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進協議会負担金 (313 千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。	観光振興室
世界遺産登録推進事業 (6,500 千円)	「立山砂防」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	観光振興室
室堂周辺における Wi-Fi 運用事業 (15,865 千円)	室堂地区の山小屋等に整備した TOYAMA Free Wi-Fi の運用及び機器の更新を行った。	デジタル化推進室、危機管理課
立山博物館の管理運営 (236,687 千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展（2 回）の開催等により、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (136 千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について理解を深める体験学習会（10 回、262 人参加）を実施し、参加者に P R を行った。	砂防課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
新宇奈月・樺平 周辺旅行商品造成支援事業 (4,950 千円)	「黒部宇奈月キャニオンルート」の一部区間を利用した新たな観光コンテンツの造成等を支援した。 黒部峡谷鉄道の全線開通後を見据えた、「黒部宇奈月キャニオンルート」のプロジェクションマッピングの映像コンテンツ投影に必要な機器等の購入及び映像調整を行った。	観光振興室
黒部宇奈月キャニオンルート開業プロモーション事業 (16,580 千円)	「黒部宇奈月キャニオンルート」の一般開放・旅行商品化の開始に向けた機運を高めるプロモーションを展開した。 ①メディアを活用した情報発信 ア. メディアからの問い合わせに一元的に対応する P R 事務局の設置 イ. 各種媒体による P R ②黒部宇奈月キャニオンルートホームページ保守管理 ③機運醸成に繋げるイベント実施 (場所) 日本橋とやま館 (期間) 令和 6 年 7 月 19 日～8 月 1 日	観光振興室
インバウンド等に対応した黒部・宇奈月魅力新発見事業 (45,000 千円)	宇奈月温泉周辺や黒部峡谷鉄道でのインバウンド等に対応した旅行商品の造成、及び「黒部宇奈月キャニオンルート」の映像コンテンツの提供を行った。 ①宇奈月温泉周辺や能登半島地震の影響で部分開通となっている黒部峡谷鉄道の猫又駅での特別な体験ができる旅行商品の造成 〔実績〕 4 コース、146名 ②造成した旅行商品への「黒部宇奈月キャニオンルート」の映像コンテンツの提供	観光振興室
三霊山周遊デジタルスタンプラリー事業 (3,000 千円)	三霊山を有する三県の周遊の促進を図るため、三霊山をテーマとしたデジタルスタンプラリー等を実施 ① デジタルスタンプラリーの実施 期間：令和 6 年 7 月 1 日～11月30日 実績：アプリダウンロード数：643件 ② バイクラリーイベント「日本三霊山ラリー2024」の開催 期間：令和 6 年10月26日～10月27日 実績：参加者数207人	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
三霊山を活用した観光PR事業	三霊山の認知度向上を図るため、食をフックにした観光PRイベント等を開催し、三県の特産品の販売や観光PRブースの設置、関連の三霊山連携イベントのPR等を実施した。 場所：KITTE丸の内 1階アトリウム 期間：令和6年7月20日～7月21日	観光振興室
立山博物館を中核とした文化観光拠点計画の推進 (58,035 千円)	文化観光拠点計画の認定を受け、立山エリアにおける文化観光を推進し観光誘客と地域活性化を図るため、拠点施設である立山博物館の情報発信や展示の磨き上げを実施した。 ・展示館2階の展示刷新（タッチパネル導入など解説展示の刷新、多言語化） ・高精細スキャンによる立山曼荼羅のデジタル化 ・「日本三霊山」魅力発信のための特別企画展の実施 ・立山黒部アルペンルート内の山荘・ホテル等におけるサテライト展示の実施 ・WEBサイト「オンライン立山博物館」の多言語化 ・動画コンテンツの制作・放映 等	文化振興室

（２）「世界で最も美しい富山湾」の魅力の創出・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (2,594 千円)	官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みに対し支援等を行った。 ・補助件数 8 件	観光振興室
富山湾岸サイクリング第10回大会記念事業 (3,700 千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進等のため、「富山湾岸サイクリング2024」を開催した。 2024大会は、第10回の記念大会として前日祭を開催し、パネルディスカッション・トークショー・全国のサイクリングコース等のブース展示についても実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやまサイクルナビ」活用推進事業 (1,075 千円)	ウェブサイト「とやまサイクルナビ」に称名滝コース、五箇山コースなど、サイクリング上級者向けヒルクライムコースの行程ページ等を作成し追加掲載した。	観光振興室
北陸三県サイクルツーリズム連携事業 (4,017 千円)	石川県、福井県と連携し、サイクルツーリズムを活用した観光誘客の促進を図るため、北陸3県デジタルスタンプラリーを開催した。また、大規模サイクルイベント（令和6年10月 サイクリングしまなみ2024、令和7年3月 CYCLE MODE RIDE OSAKA 2025）に3県で連携したブース出展等を実施した。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」総会派遣事業 (1,681 千円)	モロッコで開催された「世界で最も美しい湾クラブ」総会に参加し、富山湾の魅力を広く発信した。	観光振興室
富山湾の魅力発信事業 (90 千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」や富山湾を紹介するパネル展を開催し、富山湾の魅力を発信した。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年記念ヨットレース開催支援事業 (2,000 千円)	富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」加盟10周年を記念し、民間団体が行うヨットレースと記念行事の開催支援を行った。	観光振興室
県民向け自転車普及啓発事業 (2,998 千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ① 場所：グランドプラザ 日時：令和6年6月29日 10時～16時 参加者数約2,000人 ② 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和6年10月5日 10時～16時 参加者数約1,300人	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
令和6年度「富山湾岸サイクリングコース」利用状況調査 (3,630千円)	自転車走行台数の調査及び利用者等へのアンケート調査を実施した。 場所：ひみ番屋街、今川橋付近、海の駅蜃気楼 日時：6月7日(金)、8日(土)、9日(日) 9月13日(金)、14日(土)、10月6日(日)	観光振興室
サイクリングコース整備事業 (45,126千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備	道路課
海王丸保存活用事業 (74,335千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 富山の強みを活かした高付加価値のコンテンツ造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
持続可能な観光地域づくり支援事業(再掲) (4,615千円)	インバウンド等に対応した受入環境の整備や、デジタル技術の活用等を支援した。 ・補助件数 11件	観光振興室
祭りを活用したインバウンド需要創出事業 (75,000千円)	観光消費のポテンシャルが高い県内の魅力ある4つの祭りや獅子舞などを対象に、市町村や地元の皆様と連携して収益化に向けた取組みを実施した。 [実績] ①特別観覧席、参加体験ツアーの造成、販売 ②祭りの特徴や地域の特産品を活かしたオリジナルグッズやお土産等の開発・販売 ③祭りの魅力を発信し、観光誘客と収益化を推進するためのホームページの制作	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (10,752 千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約 1 万件の応募)	市場戦略推進課
「とやま食の匠」の認定・普及 (37 千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し普及活動を積極的に行える個人や団体を、「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 5 個人・団体 (計 190 個人・団体) ・講師派遣 5 回	市場戦略推進課
富山米のブランド力向上 (79,574 千円)	県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のための P R などにより、「富富富」など富山米の P R とブランド力向上を図った。	市場戦略推進課
「とやまグルメ・フードフェス」の開催 (17,079 千円)	「とやまグルメ・フードフェス」を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・富山産業展示館、令和 6 年 10 月 26～27 日 ・県内を中心に約 24,000 人が来場	市場戦略推進課
ふるさと認証食品 (E マーク) 制度の普及 (230 千円)	県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品 (E マーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。 ・令和 6 度末 189 品	市場戦略推進課
「とやまの食」新幹線・航空機輸送事業 (443 千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費支援事業を実施した。	市場戦略推進課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山県推奨とやまブランド」 推進事業 (4,421 千円)	「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。 ・認定品を紹介するパンフレットを制作 ・PR 映像の制作	広報・ブランディング推進室
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,159 千円)	県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。 ・補助件数 10 件	文化振興室
とやまの文化魅力発信・周遊促進事業 (1,470 千円)	本県が誇る、有形・無形の文化財や特色ある美術館・博物館などを周遊するツアーの造成等を支援するとともに、県の観光 WEB サイトを通じた魅力発信を実施した。 ・補助件数 7 件	文化振興室
金岡邸・内山邸文化の魅力再生事業 (2,670 千円)	国登録有形文化財の金岡邸・内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。	文化振興室
とやまのお土産新ブランド創出事業 (11,400 千円)	「美・癒し」をテーマとしたブランド「美のこわけ」の販売及びブランド浸透のためのPR等を実施した。	商工企画課
とやま中小企業チャレンジファンド 地域資源活用事業 (19,840 千円)	産地の技術や農林水産品、観光資源等の地域資源を活用した新商品開発等を支援した。 ・採択件数 8 件	地域産業振興室

(4) 「富山らしい」コンテンツの〔造成〕＝〔流通〕＝〔購入〕までのサプライチェーンの整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業（再掲） (18,388 千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室

(5) 体験型・滞在型の多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
産業観光魅力創出事業（再掲） (1,580 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った。 ・補助件数 7 件	観光振興室
「富山で学ぼう！」教育旅行誘致促進事業 (4,131 千円)	県内事業者と旅行会社によるオンライン商談会の開催や、首都圏・関西圏・中京圏の旅行会社への出向宣伝を実施し、富山県への教育旅行誘致を図った。 また、出向宣伝や現地研修会等で使用する「富山県教育旅行ガイドブック」の改訂を行った。	観光振興室
アートのまちめぐりパスポート事業 (2,175 千円)	富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。	観光振興室
うみとやまローカルラボ（夏編）の開催 (3,500 千円)	県内の中山間地域を中心に特色ある活動に取り組むローカルプレイヤーとの交流体験企画「うみとやまローカルラボ（夏編）」を開催し、中山間地域の魅力の発掘・発信を通して関係人口の拡大を図った。 ・開催期間 夏編：令和6年9月7日（土）、8日（日） ・参加者 計14名	ワンチームとやま推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
プロスポーツチーム地域貢献活動等活性化事業 (69,415 千円)	プロスポーツチームの運営会社が取り組む地域貢献活動等の活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3 団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (89,620 千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、関係人口の拡大を図るため、「富山マラソン 2024」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン 2024 の開催（14,627 名出走）など	スポーツ振興課
県民向け自転車普及啓発事業 (再掲) (2,998 千円)	自転車のさらなる利用促進や安全・安心な自転車社会の実現に向けて、自転車普及啓発イベント「Go!Go!サイクルとやま」を開催した。 ① 場所：グランドプラザ 日時：令和 6 年 6 月 29 日 10 時～16 時 参加者数約 2,000 人 ② 場所：三井アウトレットパーク 北陸小矢部 日時：令和 6 年 10 月 5 日 10 時～16 時 参加者数約 1,300 人	観光振興室
富山県自転車活用推進事業費補助金 (1,308 千円)	自転車の活用推進を図る事業のうち、「富山県自転車活用推進計画」に記載された施策の推進に資する事業に対して支援した。 ・補助件数 4 件	観光振興室
富山県美術館管理運営費 (542,165 千円)	アートとデザインとつなぐ美術館として、世界的コレクションを新しい切り口やテーマ、見せ方で紹介する富山県美術館において、常設展や企画展（5 回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
水墨美術館管理 運営費 (146,116 千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（５回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興室
高志の国文学館 管理運営費 (207,308 千円)	富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施し、越中万葉をはじめとした富山県の文学の魅力を県内外に発信した。 ・企画展（５回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（24回）	文化振興室
利賀芸術公園費 (281,270 千円)	「舞台芸術特区 T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「S C O T サマー・シーズン 2024」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興室
イタイイタイ病 資料館管理運営 費 (52,410 千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、その教訓等を後世に継承するための施設展示や情報発信を実施した。 ・語り部講話、特別企画展 ・資料の収集及び保管 等	健康対策室
とやま帰農塾推 進事業 (4,973 千円)	「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型の田舎暮らし体験講座「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流・関係人口の拡大、移住の促進を図った。 ・とやま帰農塾の開講（８市町 全 9 講座）	農村振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま農泊ネットワーク推進事業 (8,729 千円)	富山県における農泊の広域的な展開・振興を目的として R 4 に設立した「富山県農泊推進ネットワーク会議」を引き続き運営するとともに、農泊地域の人材育成や、県内の農泊地域への誘客を促進する取組みを行った。 ・富山県農泊推進ネットワーク会議の開催（2 回） ・先進地視察（1 回）、各種研修（3 回）の開催 ・ツーリズム E X P O ジャパン 2024 への出展	農村振興課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (45,126 千円)	「富山湾岸サイクリングコース」において、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、走行環境の整備を実施するとともに、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を推進した。 ・矢羽根型路面表示等の整備 ・自転車専用道の整備	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費 (7,802 千円)	地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。 ・景観づくり顕彰「うるおい景観とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援 ・市町村の景観づくりの普及啓発に対する支援など	建築住宅課
環水公園におけるウェルビーイング向上事業 (再掲) (17,125 千円)	富岩水上ラインとの連携や、県内若手経営者・学生などの企画力を活用したイベントを環水公園で開催した。 ・「キッズフェスタ」「サマーファウンテン」「ナイトクルーズ」「ハロウィンマーケット」などのイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光振興室
「とやまグルメ・フードフェス」の開催(再掲) (17,079 千円)	「とやまグルメ・フードフェス」を開催し、富山県の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・富山産業展示館、令和 6 年 10 月 26～27 日 ・県内を中心に約 24,000 人が来場	市場戦略推進課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「とやまの食」 新幹線・航空機 輸送事業(再掲) (443 千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、「富山のさかな」を含む県産食材の輸送経費支援事業を実施した。	市場戦略推進課

(6) インバウンド客のニーズに対応した観光コンテンツの開発・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
インバウンド等 に対応した黒 部・宇奈月魅力 新発見事業(再 掲) (45,000 千円)	宇奈月温泉周辺や黒部峡谷鉄道でのインバウンド等に対応した旅行商品の造成、及び「黒部宇奈月キャニオンルート」の映像コンテンツの提供を行った。 ①宇奈月温泉周辺や能登半島地震の影響で部分開通となっている黒部峡谷鉄道の猫又駅での特別な体験ができる旅行商品の造成 〔実績〕4コース、146名 ②造成した旅行商品への「黒部宇奈月キャニオンルート」の映像コンテンツの提供	観光振興室
欧米豪観光客誘 致基盤体制強化 事業 (17,000 千円)	欧米豪市場からの誘客促進のため、観光コンテンツの磨き上げ及び海外レップによるコンサルティング業務を実施した。	観光振興室

Ⅲ ターゲットに応じた戦略的なプロモーション

1 三大都市圏を中心とした国内誘客の推進

(1) 北陸新幹線敦賀開業・大阪延伸を見据えた戦略的なプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
J R連携富山ファン創出事業 (再掲) (14,932 千円)	首都圏での富山ファン創出・誘客促進を図るため、J R 会員組織と連携した情報発信や誘客を行った。 ・ J R 東日本の旅行会員組織「大人の休日倶楽部」と連携したツアー・趣味の会講座の開催 ・ 首都圏の主要な駅での物産展の開催 など	観光振興室
北陸三県通年誘客キャンペーン事業 (10,000 千円)	北陸三県や北陸経済連合会、J R 西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000 千円)	北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るとともに、北陸デスティネーションキャンペーンでの誘客を促進するため、北陸三県及び J R との連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。 ・ 観光素材説明会の開催 ・ 観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)	北陸への誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などにより協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・ 北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・ 北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など	観光振興室
北陸 D C 推進事業 (27,448 千円)	令和 6 年 10 月からの北陸デスティネーションキャンペーンにおいて、北陸三県や J R 等と連携し、観光誘客の促進や旅行者の満足度向上の取組みを実施した。 ・ 北陸 D C における情報発信 ・ 北陸の食をテーマとした「北陸グルメイベント」等の開催 （日 時）令和 6 年 11 月 3 日～ 4 日 （会 場）氷見市芸術文化館 （来場者）32,000 人 ・ 旅行者へのおもてなしとして、新幹線駅でのお出迎えイベント等の開催	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域周遊観光促進事業 (4,727 千円)	広域周遊観光を促進するため、関係県と連携したプロモーションなどを実施した。 ・長野県との周遊促進（モデルコースのPR等） ・岐阜県との周遊促進（周遊プランのPR等）	観光振興室
飛越能経済観光都市懇談会負担金 (100 千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・インバウンド向け観光ポータルサイトの構築 ・SNS 広告配信 など	観光振興室
(公社) 日本観光振興協会負担金 (718 千円)	(公社) 日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援を行った。	観光振興室
(公社) 日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200 千円)	(公社) 日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等による国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光振興室
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000 千円)	ノーベル賞受賞者にゆかりの深い国道 41 号沿線を散策する「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2024」（富山市大沢野笹津編、飛騨市神岡編、富山市中心市街地編）を開催した。	観光振興室
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600 千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 ・北陸 3 県の観光ホームページ「北陸物語」の更新 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など	広報・ブランディング推進室
飛越地域等との交流推進事業	飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地方創生を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、当該地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、古くから伝わる祭り等のPR活動を全国に向け展開した。 (協議会の主な事業) ・カレンダーの作成やホームページによる飛越地域の魅力発信及び誘客の促進	行政経営室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
メディア連携情報発信事業 (2,133 千円)	北陸新幹線の敦賀延伸や北陸ＤＣを機に、メディアを活用した情報発信の強化を図るため、市町村等と連携して首都圏メディアへの情報発信等を実施した。 ・メディア向け県内視察会の開催 ・メディア向け情報発信の手法を学ぶ研修会の実施	観光振興室
北陸三県連携プロモーション事業 (20,000 千円)	北陸三県が連携し、大手旅行会社による全国的な誘客キャンペーンや、マスメディアを活用した情報発信等を実施した。 ①大手旅行会社と連携した誘客キャンペーン ②ラッピング新幹線の運行(R6.9～) ③メディア向け情報発信(首都圏メディアPR会議) ④地元駅での機運醸成(R6.10～フラッグ等の設置) ⑤広域周遊観光の促進(デジタルスタンプラリー)	観光振興室
関西圏情報発信拠点魅力発信推進事業(再掲) (59,359 千円)	令和6年7月31日、KITTE大阪に富山・石川・福井情報発信拠点「HOKURIKU+ (ホクリクプラス)」が開業した。観光プロモーションや寿司をフックにした観光PR等を実施し、本県の魅力を発信した。	観光振興室

(2)「富山ファン」に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (500 千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
「いきいき富山館」管理運営事業 (27,298 千円)	東京のアンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等の開催により、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
「ツーリズム E X P O ジャパン」出展事業(再掲) (7,420 千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズム E X P O ジャパン 2024」に富山県ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
関東地方観光プロモーション事業(再掲) (6,800 千円)	北陸新幹線沿線地域からの誘客を図るため、令和7年1月18日～19日に「とやまの観光とうまいもの展」(JR 浦和駅)を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。	観光振興室
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000 千円)	本県への誘客や特産品販売の拡大を図るため、北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施した。	観光振興室
観光パンフレット等作成 (3,377 千円)	本県への誘客を図るため、県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラスト M A P」を作成・配布した。	観光振興室
Web マーケティングによるデジタル情報発信事業(再掲) (24,584 千円)	「とやま観光ナビ」を中心とした観光情報の発信や、WEB 広告・SNS 等を活用し、Web マーケティングによる戦略的なデジタル情報の発信を展開した。	観光振興室
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (35,402 千円)	(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光 P R 事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光 P R 事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光 P R 資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光振興室
冬季誘客促進事業 (945 千円)	冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、団体ツアーや旅行商品造成のため、広告費の一部を支援した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
広域連携による 観光PR事業 (2,300 千円)	百貨店やショッピングモールが主催する北陸三県等との合同物産展等において、北陸ほか近隣各県との連携を図り、エリア一体的な観光PRを実施した。	観光振興室
首都圏情報発信 拠点運営事業 (160,207 千円)	首都圏において本県の魅力をPRするため、物販、飲食、観光・定住・U I J ターンに係る情報提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。 ・令和6年度来館者数：約26万3千人 ・令和6年度売上げ：約3億6800万円	観光振興室
首都圏とやまの 魅力発信事業 (再掲) (22,870 千円)	首都圏において富山県の魅力をPRするため、日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や、本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加などにより、本県独自の魅力について情報発信を行った。	観光振興室
首都圏観光・定 住促進事業 (13,201 千円)	本県への観光・定住を促進するため、日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。 ・令和6年度相談対応：延べ約1万4千人	観光振興室
首都圏魅力発信 強化事業 (4,430 千円)	首都圏メディアへのリリース配信や、人的ネットワークを活用した魅力発信及びとやまの地域伝統芸能（おわら、麦屋節、こきりこ等）の披露や体験等による情報発信を実施することにより、首都圏での関係人口の創出を図った。 ・リリース配信36回 ・「富山の極味 in T o k y o」の作成・配布 ・首都圏イベント等でのとやまの地域伝統芸能の披露・体験等4回 等	首都圏本部

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸・とやま応援事業（再掲） (1,346,660 千円)	能登半島地震による風評被害や旅行自粛を払拭するため、国・北陸四県の協力による旅行割引や県独自のクーポン配布を実施した。 ○北陸応援割 期間：令和 6 年 3 月 16 日～令和 6 年 4 月 26 日 実績：補助額 8 億 8,449 万円（102,475 人泊） ○応援クーポン 期間：令和 6 年 2 月 20 日～令和 6 年 4 月 28 日 実績：利用額 3 億 2,694 万円 (利用店舗数 1,822 店)	観光振興室
観光来訪者 CRM 諸施策に関する研究事業 (3,302 千円)	関係人口の拡大を目的とした観光来訪者 CRM の先進地に対する調査及び分析、政策提言を行った。	観光振興室
関係人口創出に向けた情報発信業務 (34,800 千円)	本県の認知度向上やイメージ形成、関係人口の創出に向け、新たな W E B サイトを構築し、県内外へ富山の魅力を発信した。 ・記事掲載数 36 本	広報・ブランディング推進室
ワクワクとやま応援寄附金 (87,077 千円)	一定額以上のふるさと納税（寄附）者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源の P R を行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・ホームページでの P R ・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【令和 6 年度：寄附件数 9,222 件 寄附金額 392,609 千円】	税務課
「富山のくすり」ブランド情報発信事業 (1,100 千円)	（一社）富山県薬業連合会が実施した日本橋とやま館（東京都）において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援するなど、配置薬の魅力を発信した。 ・配置薬・富山のくすり関連雑貨の販売、売薬資料の展示 令和 7 年 2 月 14 日～19 日	くすり振興課

(3) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した 観光PR事業 (2,200千円)	本県が舞台となった映画の公開にあわせて、ロケ地富山の魅力や観光情報を発信した。	観光振興室
木曾義仲・巴御 前魅力発信事業 (854千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲・巴」のゆかりの史跡を巡るバスツアーや講演会の開催などにより、「義仲・巴」を活用した観光振興を図った。 ・ 埴生護国八幡宮などの史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 ・ 講演会の開催	行政経営室

2 海外誘客の推進

(1) 海外の個人旅行者に届く効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
訪日観光客向け 観光情報発信・ 取得利便性向上 事業 (3,307千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、富山県の観光資源等をPRする外国語パンフレット等を制作した。	観光振興室
「富山 week in LONDON」プロモーション事業 (16,648千円)	欧州からの高付加価値旅行者の誘客につなげるため、欧州の中でも旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示や観光PR、旅行会社向けセールス・商談等を実施した。 ・ 富山 week in ロンドン (令和6年11月5日～11月8日) @ JAPAN HOUSE、Japan Society 他	観光振興室
インバウンド向けHP及びSNS 情報発信強化 事業(再掲) (10,726千円)	外国人観光客のさらなる誘致のため、HPとSNSの一体的かつ効果的な運用及び情報発信を行った。	観光振興室

（２）近隣県等との連携によるプロモーションや広域周遊の促進

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
ビジット・トヤマ広域連携強化事業 (21,658 千円)	近隣県や民間事業者と連携し、メディア・インフルエンサー招聘による情報発信や現地旅行博への出展等により、広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社) 中央日本総合観光機構負担金 (3,000 千円)	中部 9 県 3 市の観光事業に関する中枢機関である(一社) 中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源の P R 等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800 千円)	北陸 3 県及び管内自治体等と組織している「北陸国際観光テーマ地区推進協議会」において、海外有力メディアを活用した記事広告、メディア招聘、旅行博への出展など、広域観光の促進を図った。	観光振興室
(独) 国際観光振興機構負担金 (680 千円)	(独) 国際観光振興機構(J N T O)の賛助団体に加入し、J N T Oの海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外への P R により、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室

（３）東アジア・東南アジアからのリピーター客の取り込み

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
観光客誘致コンサルティング事業 (800 千円)	台湾からの誘客促進のため、本県観光情報の継続的な発信、現地旅行事業者等との関係構築、現地ニーズに即した旅行商品造成の働きかけ等を実施した。	観光振興室
韓国観光誘客促進 P R 事業 (2,500 千円)	韓国における観光誘客促進に向け、観光レップ設置による情報収集・セールス活動、韓国旅行博への石川県との共同出展を行った。	観光振興室
中国観光誘客促進 P R 事業 (1,993 千円)	遼寧省との友好県省締結 40 周年記念事業の一環として観光説明会を開催し、観光需要の取り込み及びインバウンド誘客促進を図った。	観光振興室
遼寧省観光プロモーション強化事業 (3,246 千円)	中国遼寧省からのインバウンド誘客促進を図るため、現地旅行会社の招聘や現地での観光 P R を行った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
大連事務所運営費 (26,980 千円)	富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点に、観光振興のためにオンラインを含めた各種取組みを展開し、アフターコロナにおける中国からの観光客の誘致促進を図った。 ・「天皇誕生日祝賀レセプション」、事業者による特産品のオンライン紹介販売等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR 等	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (34,153 千円)	令和4年3月に策定した「とやま輸出ジャンプアップ計画」の目標達成に向けて、とやま輸出コミュニティにおいて輸出に関心のある事業者を対象としたセミナーを開催するほか、リーディングプロジェクトや地域商社を中心とした輸出プラットフォームの構築に取り組んだ。	市場戦略推進課

(4) 欧米豪の富裕層など新規市場の開拓

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米豪観光客誘致基盤体制強化事業 (再掲) (17,000 千円)	欧米豪からの誘客促進のため、観光コンテンツの磨き上げ及び海外レップによるコンサルティング業務を実施した。	観光振興室
「富山 week in LONDON」プロモーション事業 (再掲) (16,648 千円)	欧州からの高付加価値旅行者の誘客につなげるため、欧州の中でも旅行会社が集積するロンドンで、富山の暮らしや伝統文化等の体験・展示や観光PR、旅行会社向けセールス・商談等を実施した。 ・富山 week in ロンドン (令和6年11月5日～11月8日) @JAPAN HOUSE、Japan Society 他	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国内ランドオペレーター向け誘客推進事業 (2,874 千円)	欧米豪を中心としたインバウンド誘客の拡大に向け、都市圏のランドオペレーターに対するセールスや県内視察等を実施した。	観光振興室
米国観光プロモーション調査事業 (1,500 千円)	ニューヨークタイムズが発表した「2025 年に行くべき 52 カ所」の選定を好機ととらえ、米国からの誘客を促進するため、米国市場の特性やニーズ、誘客に向けた効果的な手法等について調査を実施した。	観光振興室
クルーズプロモーション強化事業 (18,043 千円)	船社・旅行会社への誘致活動の強化やクルーズ客船・外国人観光客誘致専門員の配置等により、クルーズ客船の誘致を図った。	観光振興室
フランス観光プロモーション事業 (3,732 千円)	全国知事会がフランスで実施する観光プロモーションに参加し、石川県、福井県と連携してブースを出展するほか現地旅行会社へのセールスを実施した。	観光振興室
インド観光プロモーション事業 (3,700 千円)	インド経済訪問団派遣事業の一環として、現地での本県の認知度向上とともに、本県への誘客を図るため、観光説明会を開催した。	観光振興室

3 ビジネス観光誘客の推進

(1) ビジネス客向けの旅行商品の造成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催事業費補助金 (14,395 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 30 件	観光振興室

(2) ものづくり県としての強みを活かした産業観光の促進

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
産業観光魅力創出事業(再掲) (1,580 千円)	産業観光魅力創出補助金により、県内企業の受入態勢の整備に対する支援を行った。 ・補助件数 7 件	観光振興室

(3) ワークेशन・ブレジャー等ビジネス観光の誘致

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
ワークेशन・テレワーク推進事業(再掲) (3,921 千円)	テレワークなど新しい働き方の変化に対応し、富山ならではのワークेशनを推進するため、戦略的なPRや県外企業・個人等への支援を実施した。 ・県内でのワークेशन実施者への助成 利用者 68 名	成長戦略室

(4) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション等の誘致

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (1,462 千円)	I C C A (国際会議協会) のデータベースを活用し、国際会議の誘致を強化した。	観光振興室
(公財) 富山コンベンションビューロー補助金 (14,820 千円)	(公財) 富山コンベンションビューローの運営経費等に対し補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 誘致促進事業 (2,676 千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。	観光振興室
コンベンション 誘致宣伝事業 (1,139 千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会へ出展した。本県のコンベンション開催支援制度等を P R するとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を紹介し、コンベンションの誘致に努めた。 ・第 34 回国際 M I C E エキスポ（I M E 2 0 2 5） 令和 7 年 2 月 13 日	観光振興室
誘致訪問活動& フォローアップ 調査事業 (870 千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンションの誘致促進を図った。	観光振興室
富山国際会議場 運営費補助金 (83,450 千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
富山国際会議場 災害復旧補助金 (11,516 千円)	令和 6 年能登半島地震の影響により、富山国際会議場の設備が損傷し、施設の運営に支障が生じることから、富山国際会議場の復旧に要する費用を補助した。	観光振興室
学会等開催事業 費補助金(再掲) (14,395 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 30 件	観光振興室
富山型 M I C E 連携推進事業 (620 千円)	欧州最大級の MICE 見本市である IMEX Frankfurt2024 の日本ブースに、富山県として出展し、商談や本県の P R を行うことで、国際会議の新規開拓を目指した。 ・IMEX Frankfurt2024 令和 6 年 5 月 14～16 日	観光振興室

(5) 富山の魅力を活かした会場やアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実 施 状 況	担 当 課
コンベンション タクシー助成事業 (365 千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・ 補助件数 31 件	観光振興室
おもてなしタクシー ドライバー実践力アップ事業（再掲） (1,000 千円)	タクシードライバー向けに観光客に伝えるべき最新の観光情報や接遇の知識をまとめた動画を制作、YouTube 配信し、ドライバーの観光案内能力、おもてなし力の向上を図った。 ・ 12 本制作、配信	観光振興室